

コミュニケーションが苦手な学生の 就職支援事業 2023年度概要報告

2024年4月

NPO法人札幌チャレンジド

主な取り組みと結果

実施内容	実施結果	備考
大学での説明会実施回数	23回（対面11、オンライン12）	4大学で実施
大学での説明会参加者数	99人（対面41、オンライン58）	
個別相談対応	28人・のべ119人	個別研修・面談
コミュニケーション研修参加者	13人・のべ64人	集合形式・自己理解
就職決定者	1人	
LINE登録者数	62人	関係者5～6人含む

事業実施によって得られた成果

1. 潜在的ニーズ（対象者）の把握

- ▶ 本事業を実施したことで、コミュニケーションが苦手な学生が就職活動に向けて大きな不安を抱え、就職活動が実施できていないことが明確に把握できた。そして、どこの大学にも一定数の潜在的な対象者がいることも把握できた。

2. 個別相談の必要性の確認

- ▶ 就職に向けて困難を抱えた学生が相談する先を求めており、相談できることで安心感を得られていることが確認できた。

3. 研修の有効性の確認

- ▶ 個別研修およびグループ研修を実施することで、自己理解の深まりやコミュニケーション力の向上が図られ、自分に自信が持てる変化が生まれることが確認できた。

事業実施によって得られた成果

4. 大学との連携の有効性の確認

- ▶ 対象となる学生支援を行う為には、大学と連携することが有効であることが確認できた。特に、学生への広報と対象学生の紹介による連携での成果が大きい。

5. 企業側の捉え方の確認

- ▶ 企業団体との意見交換会により、企業側の人手不足や採用活動の状況やコミュニケーションが苦手な学生を企業が採用していく為に必要なことを把握することができた。

研修内容「自己理解」

月	日	内容
7	3日(月)・14日(金) 19日(水)・28日(金)	オリエンテーション 本講座の内容・進め方・目的等の説明 心理学をベースにした「自己理解」について、自分の心と身体をつながり、他者との繋がりから知る。
	2日(水)・7日(月)	心の成り立ちと働き(自我状態)・エゴグラム
8	18日(金)・21日(月)	心の働きの違いの体験(エゴグラムも参考)
	4日(月)・11日(月)	心の栄養素(ストローク)の種類
9	20日(水)・29日(金)	ストローク体験と自己理解
	4日(水)・13日(金)	ストロークの癖とストローク経済の法則
10	20日(金)・23日(月)	人との関りにおけるストロークとディスカウント
	1日(水)・13日(月)	人生の立場と自己・他者理解
11	24日(金)・29日(水)	それぞれの立場における感情と行動
	8日(金)・13日(水)	感情コントロールとアンガーマネジメント
12	18日(月)・22日(金)	神経系の使い方(ポリヴェーガル理論)
	17日(水)・19日(金)	私の人生脚本1(ドライバーから)
1	22日(月)・31日(水)	私の人生脚本2(禁止令から)
	5日(月)・9日(金)	発達性トラウマについて
2	21日(水)・26日(月)	心と身体をつながり・自己調整
	6日(水)・8日(金)	レジリエンス
3	18日(月)・22日(金)	全体のまとめ(自己への気づき)



2024年度 実施計画

実施内容	計画	備考
大学での説明会の開催	6大学にて実施	
オープン説明会の開催	5回（オンライン予定）	
事業広報フォーラムの開催	10月頃を予定	
学生関連団体との連携	Ezorock、北海道インブリッジ、Kakotam	
大学へのアンケート調査の実施	8月と2月に予定	
学生支援協議会（仮称）の設立準備	大学や行政との協議	